



ひょうごローズクラブ
Hyogo Rose Club

Scent of Roses

バラの香り

<http://www.rosehyogo.jp>



- ひょうごローズクラブ「活動報告」 1~2
連載「アロマテラピーとローズ」 3~4
バラにまつわる話「浜寺公園 無農薬栽培への取り組み」 5
連載「殿堂入りのバラの物語」 6

表紙のバラ ‘ノックアウト’ 画像提供 京成バラ園芸

第18号
2016.1

平成27年度 ひょうごローズクラブ活動報告

本年度は「淡路花博2015花みどりフェア」の一環として淡路島で総会・ローズセミナーを開催し、花の島淡路島の春を楽しんでいただきました。恒例のバラの達人養成講座を始めとする栽培講習会、秋の研修旅行、バラの香りを生かしたアロマ講習会等の体験実習講座を計画し、順次開催してきました。その様子を写真で紹介します。

ひょうごローズクラブ総会・ローズセミナー

開催日時…5月23日(土)

会場…県立淡路夢舞台国際会議場

参加者…170名

内 容…総会終了後、2つのセミナーが開催されました。

まずローズスタイル大野耕生さんから、「耕生流バラの育て方」をテーマに、おすすめのバラ品種の紹介や、虫などにとらわれすぎない自然体の栽培、バラを取り入れた自身の暮らしの様子など、バラを心から愛する大野さんならではのお話を聞きました。



総会審議



大野耕生 さん



佐々木薰 さん



展示された県内産バラを見入る参加者の皆さん



視察研修旅行 「浜寺公園＆四季の郷公園」

開催日…10月28日(水)

参加者…62名

内 容…浜寺公園ばら庭園(堺市)

は、日本の山野の原風景にバラの演出をした回遊式庭園で、現在300品種6500株が育成されています。

新たなスタイルのバラ園を試み、

①バラのサンブルガーデンではなく、他の草花とのハーモニーによりバラをより美しく演出すること、

②日本の自生種ノイバラやハマナスなど現代バラの原種である日本・中国の自生種を多く集め、品種の系統保存に努めること、③無農薬栽培管理へ移行するために、耐病性の強い種に変更するなどの取り組みをしていることなどをボランティアグループ「ばら庭園案内俱楽部」メンバーの皆さんに説明していただきました。

四季の郷公園(和歌山市)には、露地のバラ園の他にバラの水耕の研究をされているバラ温室があり、その実現が楽しみになりました。

講習会 「バラの達人養成講座」

開催日…7月～翌1月の計5回

場所…兵庫県立播磨中央公園

講師…前野義博さん
(ひょうじこローズクラブ理事、(有)確実園本園)

内容…バラ栽培

培のエキスパー

ト前野さんに学

ぶバラの総合講
座。今年も多くの
達人が誕生し
そうです。



講習会 「プリザーブドフラワーで作るクリスマス飾り」

開催日…11月27日(金)

参加者…18名

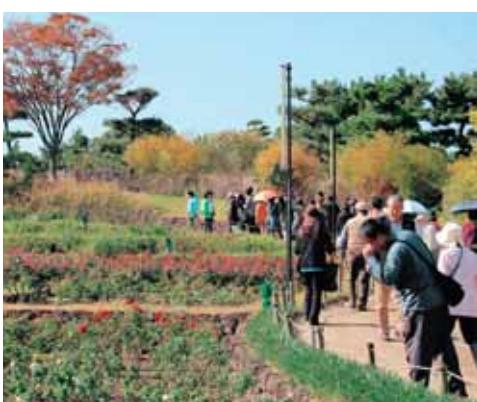
場所…花と緑のまちづくりセンター

講師…平尾ひろ子さん
(フラワーコーディネーター)

内容…13種の木の実と
アジサイのプリザーブド
フラワーをふんだんに使
つたおしゃれなリースが
出来上がりました。



四季の郷公園のバラ温室とバラ園



浜寺公園ばら庭園

講習会 「自宅でできるローズセラピー ～アンチエイジングに効果あり～」

開催日…11月6日(金)

参加者…12名

場所…神戸市立須磨離宮公園

レストラン

講師…星川雅子さん
(ひょうじこローズクラブ理事)

内容…須磨離宮公園に咲く
バラと精製水で作るエッセン
スの効用と活用法を学び、技
術職員さんの案内で、秋バラ
が美しいバラ園を観賞しまし
た。

シリーズ アロマテラピーとローズ

(株)生活の木 アロマテラピープロフェッショナル

佐々木 薫

第2回

ブルガリアン・ローズを求め、バラの谷へ

日本のアロマテラピーの第一人者として、ハーブと精油のルーツを訪ねて世界各地を巡り、その魅力を発信し続けていける佐々木薰さん。今回は最高のローズ精油の生産地ブルガリアについて紹介していただきます。



神様がくれた国
ブルガリア

ブルガリアには美しい建国伝説があります。神様が人間の国を作るために土地を分配した時、うつかりブルガリアの分を忘れてしましました。そこで神様は、天国の一部を分け与えることにしました。だからブルガリアは山、海、川、森、湖、天国と同じものがすべて揃う美しい国である、というものです。その伝説どおりの牧歌的な風景が広がります。

ブルガリアン・ローズ

ブルガリアの中央部、大きな山脈に挟まれた谷間にバラの畠が集まり、「バラの谷」と呼ばれています。首都ソフィアから140km、カザンラク市を中心ソボト、カロフエルなどの町があります。

谷は、バラの収穫の5月から6月には雨が多く、曇天が続きます。この湿気が、花が芳香成分を蓄えるのに大きく影響します。品質を高めるそうです。私も何度も訪問していますが、この時期はいつも曇り空で雨に濡れま

す。ローズ精油はトルコ、モロッコ、イランなどでも生産されていますが、最も香り高いと評価されているのがブルガリア産です。太陽が昇ると共に開き始める花を、午前中の内に摘み取ります。強い紫外線に当たると香りは蒸散してしまうため、朝露に濡れながら、作業は太陽との競争です。気候風土が、他国に比べバラの生育に適し、精油成分の含有量が高く、また3世紀を越えた歴史を誇る精油生産の技術、たとえば蒸留器などの設備であったり、工程管理の水準の高さなども、香りの品質に大きく影響していることでしょう。しかし、今年産の精油は香りは爽やかでとてもよいものの、生産量が少なく、価格の高騰にもつながりそうです。

「今年(2015年)」の収穫はとても厳しい状況。3月の雪、4月の霜など春先の寒い気候の影響で、蕾がうまくつかなかった。収穫時期の5月は天候に恵まれたものの、花の数が非常に少ない」と、産地ブルガリアから報告が届きました。精油は自然の産物であるため、その年の



バラの谷

気候の影響を大きく受け、地球温暖化による変動なども今後は懸念されます。

精油の品質を守る

ブルガリアでは、精油の品質を守るためにローズ精油の認定制度を設けてきました。含有成分の標準値を設定し、それをクリアしたものが「ブルガリアン・ローズ」として認定されます。ブルガリア



① 精油を入れる錫製容器「クンクマ」



② ブルガリアローズ研究所長のサインが入った札

留シードルに入ると、蒸留技術者たちは随時研究所に問い合わせ、指導を受けたりもします。認定には数値的なものだけでなく、感應試験、つまり香りもチェックされ、研究所長の承認を得たものだけが「ブルガリアン・ローズ」になります。

精油はクンクマというブルガリア特有の錫製容器（写真①）に入れて運ばれ、認定された精油は希釈したり混ぜられたりなどされないよう、

容器は布で包まれ口ウで封印されます。容器の口には、所長のサイン（写真②）と中の精油のサンプルが添えられます。（写真③）サンプルは小瓶に入れられ、さらにムスカリという木製容器（写真④）に詰められます。完成された精油のパッケージは、まるで芸術品のようです。

現在はすべてが合理化され、研究所の検査も義務ではなくなっていますが、伝統の心は、今なおブルガリアのローズ精油生産者の胸に生き続けています。

谷がにぎわうバラ祭り

収穫の最盛期、6月初旬にはバラ祭りが各村で開かれます。収穫を感謝し、来年の豊作を祈ります。美しい民族衣装に身を包み、歌つたり踊つたり、世界中から観光客が訪れ、町中がバラの香りに包まれます。

ブルガリアン・ローズは、厳しい管理と、関わる人たちの親しみと情熱の中で育まってきたといつても過言ではありません。



③ 容器を封印する蒸留技術者



④ 精油のサンプルを入れる木製容器「ムスカリ」

バラにまつわる話

浜寺公園 無農薬栽培への取り組み

大阪府営浜寺公園「ばら庭園」は、大阪府堺市の街中に位置し、日本の原風景の中にバラの彩りを取り入れた回遊式庭園として1991年に開園。現在300品種6500株が育成されています。今や世界的潮流となった無農薬栽培管理への移行に取り組み中で、2009年にそのプログラムを作成し、①～⑤の5つのアプローチを実践されています。

<① 物理的な防除>

a 電撃殺虫器

ヨトウガやコガネムシ等の昆虫類を感電死させる器具で、果樹園等でも広く普及しており、安全性は確保されている。

b 黄色蛍光管

点灯によってヤガ類が夜間に行う産卵や吸汁行動を抑制する。

<② 化学的な防除>

c フェロモントラップ

コガネムシ類、ヨトウガ類の駆除

d 特定防除資材※等の散布

炭酸水素カリウム（製品名 カリグリーン）

ウドンコ病の発生初期に散布する。ただし予防効果はない。

ニームオイル（製品名 ジックニーム）

センダン科のニームという樹木からとった植物オイルで黒点病に効果あり。春・秋の開花前に各3回散布する。

※その原材料が農作物や人畜及び水産動植物に害を及ぼすおそれがないことが明らかなものとして農林水産大臣及び環境大臣が指定するもの。重曹、食酢など。

<③ 生物的な防除>

e アブラムシ等の害虫を餌とする土着天敵動物による防除

テントウムシ類、ホソヒラタアブ、カマキリ類、クモ類、トンボ類、アシナガバチ類、コウモリ類、野鳥類などが害虫を餌として食べる。自然発生に任せているが、剪定枝の葉裏についているテントウムシの卵をアブラムシ類が発生している枝にゼムピンでつけたり、「ばら庭園」の池でヤゴのえさになるメダカを入れてトンボを増やしたりしている。

大阪府営浜寺公園「ばら庭園」

所在地 大阪府堺市西区浜寺公園町

交 通 (電車)阪堺電車 阪堺線 浜寺駅前すぐ

入園料 無料

H P <http://osaka-park.or.jp/>

問合先 TEL 072-261-0936



<モダンローズを植えた棚田風景・浜寺公園ばら庭園>

<④ 管理方法による防除>

f 葉透かし、摘花、枝透かし

日当たりを改善することで光合成を促し健全な育成と病害の発生を抑える。

g 日常管理で捕殺

手指でつぶす、ワイヤーブラシでカイガラムシを削り落とす。

h 環境の整備

害虫の繁殖の温床となる植え込みをなくす。

<⑤ 耐病性品種への転換>

2000年発表された「ノックアウト」は、農薬散布が必要ないという点で画期的な品種で、これ以降耐病性に重点を置いた品種が育成されるようになってきたので、こうした品種を積極的に導入している。



<「ノックアウト」花期が長く、真夏にも青々と葉を茂らせる>
画像提供 京成バラ園芸

5つのアプローチの中でも病害に対する最善の対処法は⑤の耐病性品種への転換で、その速やかな普及を待つとともに、害虫に対する最善の対処法については今後の物理的、化学的手法の発展に期待したいとのことです。

<参考資料 日本植物園協会誌第48号 2013年>

殿堂入りの★ バラの物語



第10回

‘ドフトボルケ’ Duftwolke

園芸コンサルタント
ひょうごローズクラブ理事

藤岡 友宏

朱色のバラは、青いバラとともに長年にわたりバラ育種家の夢でした。ドイツのタンタウ社が1944年に中輪の‘フロラドラ’を初めて朱色のバラとして発表しましたが、それまでは原種やポリアンサ・ローズにあるのみでした。

この‘フロラドラ’を交配親として多くの朱色のバラが生まれましたが、残念なことにそれらは全く香りがありませんでした。その後さらに20年の歳月を経て、1963年に芳香をも兼ね備えた朱色のバラ‘ドフトボルケ’が完成しました。アメリカでは‘フラグラント・クラウド’と呼ばれ、63年に英国バラ会賞（N R S）、67年にアメリカのポートランド国際コンクールで金賞を受け、81年に殿堂入りを果たしています。

作者のマチアス・タンタウ2世は、青バラの‘ブルー・ムーン’や朱色の名花‘スーパー・スター’を作出し、ドイツでは‘アイスバーグ’を作出したコルデス社に並ぶバラ育種会社を経営しています。

タンタウ社は1906年にマチアス1世によって園芸場が開かれたのが始まりで、現在もハンブルグに近いウェターゼンに会社があります。2度ほど訪問する機会があり、新しい品種などを見せてもらいました。この2社の名花を主として集めたバラ園、ロザリアム・ウェターゼン（Rosarium Uetersen）は、広い池を囲んで1000品種、30000本のバラが植えられ、2社の古くからの品種が楽しめます。素晴らしいホテルも園内にあり、バラを眺めながら宿泊や食事もできます。



‘ドフトボルケ’ Duftwolke

‘ドフトボルケ’は、無名の実生と‘プリマ・バレリーナ’の交配で、おそらくこの無名の実生には‘フロラドラ’の血が入っているのではないかと想像されます。四季咲き大輪（H T）系で、濃く少し暗い朱色、丸弁で花径は13cmくらいあって花形も良く、30弁の大輪で、強いダマスク系の香りがあります。木が丈夫で枝立ちも良く、高さは80cmくらいになり、多花性で花壇や鉢に向きます。

香り高い朱色のバラとして、多くのバラ育種家に交配親として使われ、日本では“ミスター・ローズ”鈴木省三氏が87年に‘光彩’を作り、日本のバラとしては初めてオール・アメリカ・ローズ・セレクション大賞（A A R S）を受賞しました。‘光彩’はアメリカで‘ミカド’と呼ばれています。他にも殿堂入りした72年の‘ジャスト・ジョイ’や、81年の‘ハーモニー’等、多くの名花を交配親として生んでいます。



‘ブルー・ムーン’



‘スーパー・スター’



‘ロザリアム・ウェターゼン’

バラの講習会＆イベント情報

参加費以外に入園料、駐車料金が必要な場合があります。
★は会員様向け招待券持参で入園料が無料になります。

講習会 (事前予約が必要ですので、問い合わせ先に必ずご確認ください。)

場所	テーマ・内容・講師など	日時	参加料等	受付	問合先	
神戸市	花と緑のまち推進センター	冬バラの剪定 13：30～15：00	2月7日(日) 100円	1/8(金)～	078-351-6756	
	須磨離宮公園	ツルバラ教室 10：30～12：00	1月23日(土) 1月30日(土) 入園料 400円★ 10：30～12：00	1/11(月・祝)～	078-732-6688	
		冬のバラ剪定教室 10：30～12：00		1/18(月)～		
尼崎市	上坂部西公園	バラを育てよう～冬の管理～ 13：30～15：30	1月17日(日) 受講料 2,000円 バラ苗付き	先着15名 12/1(火)～	06-6426-4022	
宝塚市	あいあいパーク	バラの育て方 連続講座 講師：前野義博氏(途中入会可)	5月～翌2月 7回 14：00～16：00	受講料 19,390円 毎回バラ苗付き	0797-89-5933	
		バラの植え替え・剪定サービス 園芸アドバイザーと一緒に植え替え、施肥、剪定、誘引を行う。	1月・2月の毎日 10：00～17：30	費用は鉢の大きさによる。		
西宮市	北山緑化植物園	美しい花を咲かせるための バラの冬仕事 講師：藤岡友宏氏	2月6日(土) 13：00～15：00	受講料 1,500円	1/15(金)～	0798-72-9391
明石市	花と緑のまちづくりセンター	バラの手入れ～接ぎ木～ 講師：高田正氏	2月12日(金) 13：30～15：30	会員 500円 一般 1,000円	1/15(金)～	078-918-2405
加東市	播磨中央公園	冬のバラ剪定講習会 講師：高田正氏	2月6日(土) 10：00～12：00	受講料 100円	1/15(金)～	0795-48-5289
姫路市	姫路ばら園	冬季剪定講習会	2月7日(日) 10：00～12：00	受講料 1,000円 入園料込み	随時受付	079-264-4044

ひょうごローズクラブ主催のイベント

場所	テーマ・内容・講師など	日時	参加料等	受付	問合先	
明石市	花と緑のまちづくりセンター	「ローズで作る石けんと入浴剤」 ローズヒップを練り合わせた石けん作りと ドライローズを使ったバスソルト作り 講師：パルシェ香りの館 安部由美氏	2月24日(水) 13：30～15：30	会員 1,000円 一般 1,500円	2/1(月)～	078-918-2405
神戸市	レストラン花の館 パラディ北野	「自分らしさを表現した庭づくり・バラづくり」と花の館フレンチ 講師：(株)エクステリア風雅舎代表 加地一雅氏 加地さんの庭づくりを画像を使って分かり易く解説していただきます。	3月25日(金) 11：30～13：30	会員 2,500円 一般 3,500円		ローズセミナー講師 河合伸志氏
	生田文化会館	総会・ローズセミナー 講師：横浜イングリッシュガーデンスパーバイザー 河合伸志氏 国内トップクラスの若手育種家で、世界に通用するジャバニーズモダンをテーマとされている河合さんにバラの魅力を語っていただきます。				
開催場所未定	バラの達人養成講座（5回連続講座） 講師：ひょうごローズクラブ理事・(有)確実園本園 前野義博氏	7月～翌2月に5回	受講料未定 バラの大苗付き	5月～		

春のバラ園オープン情報 (予約不要です。詳細は各施設にお問い合わせください。)

場所	問合先	場所	問合先	場所	問合先
神戸市	六甲山 カンツリーハウス 078-891-0366	農業公園	尼崎市農政課 06-6489-6542	加東市	播磨中央公園バラ園 0795-48-5289
	神戸布引ハーブ園 078-271-1160	上坂部西公園		加西市	フラワーセンター★ 0790-47-1182
市	須磨離宮公園★ 078-732-6688	大井戸公園	尼崎緑化公園協会 06-6494-9046	姫路市	姫路ばら園★ 079-264-4044
西	北山緑化植物園 0798-72-9391	蓬川バラ園		手柄山中央公園 緑の相談所	079-298-5571
宮	瓦林公園 西宮市公園緑地課 0798-35-3611	潮江公園	尼崎市公園維持課 06-6489-6531	多可町	北播磨余暇村公園 0795-32-1543
市	アンネのバラの教会 0798-74-5911	水明公園		淡路市	淡路夢舞台温室 ローズガーデン 薔薇祭★ 0799-74-1200
伊丹市	荒牧バラ公園 072-772-7696	岩ヶ平公園	芦屋市公園緑地課 0797-38-2065		

ひょうごローズクラブ会員募集

年間の活動・入会特典集

バラに関する講演会、各種講習会、展示会の開催

会報誌「バラの香り」の発行(年2回)

県内のバラ園、イベントへのご優待

ホームページでの情報交流

みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。

〒673-0847 明石市明石公園1番27号 花と緑のまちづくりセンター内

ひょうごローズクラブ事務局 TEL 078(918)2405 FAX 078(919)5186

info_midori@hyogopark.com

